

---

# 好きだから . . . . .

みるく

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

好きだから・・・・・・・・

### 【Nコード】

N0444A

### 【作者名】

みるく

### 【あらすじ】

このお話は、私が随分と前から考えていたお話です。このお話は、少し切ないお話かもしれませんが・・・読んでくれるだけで嬉しいです。

今日は、新一と蘭は二人の幸せ記念日です。コナンが新一に戻り、蘭の元に帰り、告白した大切な記念日。二人は忘れない事を心掛けた。二人はその記念日の3周年記念日です。二人は、トロピカルランドへと向かった。新一はにカッコイイ所を蘭に見せたくていつもより大人っぽい服を着てきた。っていうか、もう二人は20歳だからもう大人だ。新一と蘭はもう、時間が遅いので帰ろうとしていたところが、急に不審な男がこう蘭に言い出したのだった……。

「久しぶりだな、毛利蘭。俺を憶えてるか？」

と言った。よく見てみると、あの医者だった（名探偵コナンの劇場版の瞳の中の暗殺者での犯人

というかあ……あの蘭が記憶喪失になった時に治療？？たあの例の医者かな？？）

コナンはいや新一は憶えていた。あの時に蘭の記憶全てを消し、佐藤刑事を大怪我させた馬鹿な医者だと……、そして、その医者は突然……蘭を狙って拳銃で蘭を撃とうとした。そして……

「これでまた、終わりだな！！毛利蘭！！！！」

効果音「ドッキューン！！！！！！」

新一は飛び込んで蘭を庇った……。

「らん！！！！！！危ない！！！！！！！！！！」

新一は、拳銃で頭を強く撃たれ、激しく血を流している。新一が最

後の一言を言った……。

「俺が……俺が死んでも、俺は蘭の事……好きだ……」

「え??」

「この地球上の、誰よりも……死んでも、俺の事忘れんなよ……」

そして、新一は死んだ……。

そして医者、アイツ去った。蘭は泣き出した、涙が止まらなかった……。悲しくて悔しくて、声も出なかった……。突然の様に雨が降ってきた。もう、トロピカルランドには、客は居ない。蘭は自分が持っていたハンカチで死んだ新一の頭から出ていた血を噴いた……。まだ、涙は止まらない……。蘭は、自分が大好きな……。荒井由実の唄を歌いだした。

「やさしさに包まれたなら」

by ユーミン

1 小さい頃は 神様がいて

不思議に 夢をかなえてくれた  
やさしい気持で 目覚めた朝は  
おとなになっても 奇蹟はおこるよ

カーテンを開いて 静かな木洩れ陽の  
やさしさに包まれたなら きつと  
目にうつる全てのことは メッセージ

2 小さい頃は 神様がいて

毎日愛を届けてくれた  
心の奥にしまい忘れた  
大切な箱 ひらくときは今

雨上がりの庭で くちなしの香り  
やさしさに包まれたなら きつと  
目にうつる全てのことは メッセージ

カーテンを開いて 静かな木洩れ陽の  
やさしさに包まれたなら きつと  
目にうつる全てのことは メッセージ

「さよなら．．．．．新一．．．．．今日．．．．．二人  
の幸せ記念日だったのに．．．  
台無しだったね．．．．．。来年は．．．．．もう．．．  
．ココに来れないね．．．．．。残念だね．．．．．。ねえ、新一憶えて  
る??あの時も新一．．．．．勝手な事して、  
わたしを置いてって、帰ってこなかったよね．．．．．。どんなに  
寂しかったと思ってるの?

新一．．．．．ねえ．．．．．なんか言つてよ．．．．．。新一．．．  
．．．．．。また、結局!

3年まえと同じじゃない!!!あの日、新一が言っただじゃない!!  
!(映画の爆発?なんか蘭が爆弾を止めようとするやつです。)あ  
の時、新一．．．．．「死ぬ時は一緒だぜ．．．．．蘭」って!  
今、私は死んでないじゃない!!!ねえ、新一．．．．．。答えて、

「……。新一なら……不可能なんて無いんでしょう？答えられる訳……無いよね……。でも、私……。新一の事忘れないよ……。さっき誓ったもんね……。絶対忘れないよ……。絶対、絶対に……。」  
私、新一の分まで幸せになるから！！！！！！  
すると、空耳の様な声が聞こえてきた。新一の声だった……。

「サンキュー……。俺……。お前と会えて嬉しかったから……。今は、お前を助けて死んだ事……。後悔してねえよ！！俺の分まで幸せに生きていてくれよな！！」  
また、会おうぜ 今日……。いや、大切な記念日や蘭の誕生日の日、俺の誕生日の日は、絶対来てやるからな！！！！他にも来るかもしれないな！！俺の事……。気付いてくれるか？  
おっと、時間がねえから！！じゃあなあ！！！！！！」

終わり

（後書き）

新一 「って、俺……死んだのか??？」

蘭 「そーなんじゃないの??？」

平次 「なんで、工藤が死ぬんや?! 酷過ぎるんとちゃうか? ?  
しかも、俺……出てこんやんけえ!! 工藤のライバル……  
いや、

親友なのに酷過ぎるで!!!!」

和葉 「平次、何馬鹿な事、いつてんねん?! このストーリーは、  
みるくちゃんが

作ってくだはった小説なんやで?! それに、この小説は小説にうち  
等は関係ない、

脇役なんや（怒）しかも、名探偵コナンの主人公と平次はちゃうや  
んかあ!!!!!!

普通はなあ、主人公を付けるのが普通や!!!!!!」

終わり

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0444a/>

---

好きだから・・・・・・・・

2010年10月28日04時28分発行